

# ごあいさつ



2017年3月、カンボジアのクバルチュロイ桜小学校を訪問

常日頃、ご支援くださっている皆さまに心よりお礼を申し上げます。

1990年のイラク戦争の折より手さぐりではじめた国際救援活動は93年9月に「学校をつくる会」として設立。以来、活動は、25年目を数えますが、この長きに渡って活動を続けられているのは、ひとえに「出来ることから始めよう!」の呼びかけにお集まりくださった皆様の温かいご支援のお陰でございます。

現在、学校建設はカンボジアとネパールの2国で進めており、カンボジアは339棟、ネパールで9棟、ラオスに1棟、計349棟を数えておりますが、いずれの国も諸物価の値上がりもあり、建設地も遠方になり、ニーズは小規模の分校などになって、プノンペンなど大都市とはあまりの格差があって、これを是正しなければと考えております。

ソフト面では会報等でご案内のとおり、2016年3月に採用されたJICAの草の根協力事業が8月から開始され、5年間に亘る事業が始まっております。カンボジア教育省のカリキュラム改定に併せて、多くの専門家の協力を仰ぎつつ、芸術教科(情操)の新設と人材育成に向け長期的な取組を実施

しております。

国内では、2016年4月に九州熊本で大地震が発生しました。熊本在住の理事が中心となり、東京本部と連絡取りつつ、復興支援を継続した所、学生時代にカンボジア活動に参加した社会人がいて合流、感動ものでしたが、昨年7月バングラデシュで起きた襲撃事件では、学生時代JHPメンバーとしてカンボジア活動及び東日本大震災の救援にも参加した下平瑠衣さんが亡くなるという悲報に涙しました。志半ばで途絶えた彼女の助け合いの精神を私たちJHPの仲間たちが引き継いで行きたいと思っております。

2017年は当会の25周年を迎えるについて、世界が大きく変化する中で、当会の活動も難しい局面に立つこともあるかと思っております。すべては助け合いの活動になりますが、このような時、よき若い世代の参加を望むべく更に一步踏み出すことを話し合っております。

したがって今年は初心に帰って、皆様とお会いし、意見交換など親しくお話できたらと存じております。

小内美江子